

国際大会への出場者を決める選考会を行います



日本代表選手候補選抜競技会

第18回

# 日本情報オリンピック

参加者募集

## 日程 参加申込受付期間

2018年10月9日(火)12時  
～12月6日(木)24時

●予選 2018年12月9日(日)13～16時

●本選 2019年2月9日(土)・10日(日)

●春季トレーニング合宿

2019年3月19日(火)～25日(月)

参加費 **無料**

**参加方法** 参加申込は、オンラインで受け付けます。10月9日12時より情報オリンピック日本委員会のウェブサイトにて受付を開始します。

## 応募資格

参加資格は、次の2つの条件を満たすことです。●2019年2月10日(日)の第18回日本情報オリンピック本選競技実施時点で、高等学校、高等専門学校、中等教育学校、中学校、義務教育学校、小学校、特別支援学校に在学し、学年が高等学校2年以下(中等教育学校や高等専門学校などの在校生は高等学校2年に相当する学年以下)であること。なお、日本国内において学校以外の初等・中等教育機関に所属している人及び日本国外の初等・中等教育機関に所属している日本国籍を有する人は個別に相談。●生年月日が1999年4月2日以降であること。(ただし、予選のみならどなたでも参加可能)



春季トレーニング合宿の様子



JOIウェブサイト  
www.ioi-jp.org

中高生対象プログラミングコンテスト「情報オリンピック」応募法



# Come on in Olympiad in Informatics!

情報オリンピックに参加しよう! No.24



JOI 2017/2018 第17回日本情報オリンピック 結果報告



## IOI2018JAPAN 日本代表選手決定!

IOI 2019  
参加者募集



www.ioi-jp.org  
JOIウェブサイト

国際大会の  
日本代表を目指す  
選手を募集しています

2019年は  
アゼルバイジャン  
にて開催!

**主催** 特定非営利活動法人 情報オリンピック日本委員会 **共催** 国立研究開発法人 科学技術振興機構 / 茨城県 / つくば市  
**後援** 文部科学省(予定) その他申請中 **協賛** 株式会社NTTデータ / 富士通株式会社



## 国際情報オリンピックご支援のお願い

【名称】第30回 国際情報オリンピック日本大会(略称: IOI 2018 JAPAN)  
【開催期間】2018年9月1日～8日 【会場】茨城県つくば市(つくばカピオ、つくば国際会議場)  
【参加国数】約85か国・地域 【参加者数】約860名(選手320名、関係者540名) 【協賛目標額】1億4千万円

皆様のご支援をお願いいたします IOI 2018 JAPAN 組織委員会 委員長 古川一夫

銀行振込	銀行名	みずほ銀行 高田馬場支店			口座名義	特定非営利活動法人 情報オリンピック日本委員会 トクビ ジョウホウオリンピックニッポンインカイ
	預金種別	普通預金	口座番号	2760815		

**主催** 特定非営利活動法人 情報オリンピック日本委員会

**共催** 茨城県 / つくば市 / 筑波大学 / 国立研究開発法人 科学技術振興機構 / 公益財団法人 日本学術協力財団

**特別協賛** 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所

**後援** 文部科学省 / 総務省 / 経済産業省 / 独立行政法人 情報処理推進機構 / 一般社団法人 情報処理学会 / 一般社団法人 日本ソフトウェア科学会  
一般社団法人 電子情報通信学会 / 日本教育工学会 / 一般社団法人 教育システム情報学会 / 全国高等学校情報教育研究会 / WIDE プロジェクト  
全国高等学校パソコンコンクール実行委員会 / 特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会 / 独立行政法人 国立高等専門学校機構 / 全国高等学校長協会  
公益社団法人 全国工業高等学校長協会 / 公益財団法人 情報科学国際交流財団 / 一般社団法人 情報サービス産業協会 / 一般社団法人 日本IT団体連盟

# Come on in Olympiad in Informatics!

情報オリンピックに参加しよう! No.24

編集・発行 2018年5月23日発行 第1版

特定非営利活動法人 情報オリンピック日本委員会 (JCIOI)  
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-6-3-B  
TEL: 03-5272-9794 FAX: 03-6736-0510 E-mail: info@ioi-jp.org

## LINE UP

第30回 国際情報オリンピック 日本大会  
IOI2018JAPAN 日本代表選手・特別参加選手決定

IOI 2018 JAPAN  
いよいよ9月開催! 世界中から日本へ

JOI 2017 / 2018  
日本情報オリンピック表彰式を挙行

JOI2017/2018本選 成績優秀者  
JOI2017/2018本選 奨励賞成績優秀者  
JCIOI TOPICS

これまでの情報オリンピック参加者からのメッセージ  
第18回日本情報オリンピックに参加しよう! / ご支援のお願い



## 第30回 国際情報オリンピック日本大会

# IOI 2018 JAPAN 日本代表選手決定

2018年3月19日～25日『第17回日本情報オリンピック (JOI2017/2018)』本選成績上位20名を招待して、春季トレーニング合宿が行われました。4回の競技(各5時間3課題)を経て、3月24日 NTT DATA 駒場研修センターにおいて『第30回国際情報オリンピック日本大会 (IOI2018JAPAN)』の日本代表選手4名を発表しました。選手団を率いる団長・副団長のもと、結団式を行い、算理事長から松崎副団長に国旗が渡されました。

※所属および学年は2018年3月24日代表発表会時点



北九州工業高等専門学校2年  
井上 航 選手



N高等学校2年  
清水 郁実 選手



東京大学工学部計数工学科3年  
小倉 拳 団長



筑波大学附属駒場高等学校1年  
行方 光一 選手



灘高等学校2年  
細川 寛晃 選手



明石工業高等専門学校5年  
松崎 照央 副団長

## 特別参加選手決定

今大会では、主催する日本から、日本代表選手に加えて、特別参加選手として4名が参加します。この特別参加選手は、IOIの公式記録や、表彰の対象にはなりません。日本代表選手と同じ舞台上で競い合います。特別参加選手団の団長・副団長も併せて発表しました。

※所属および学年は2018年3月24日代表発表会時点



京都市立堀川高等学校2年  
岸田 陸玖 選手



灘中学校3年  
平木 康傑 選手



東京大学工学部計数工学科3年  
眞 ジェイソン翔 団長



開成中学校3年  
米田 寛峻 選手



筑波大学附属駒場中学校3年  
米田 優峻 選手



東京大学理学部情報科学科3年  
松下 祐介 副団長

## 大会スケジュール

日程	9月 1日(土)	2日(日)	3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)	8日(土)
AM		開会式	競技①		競技②		ナレッジ フェア	
PM	到着 & 受付	練習		エクス カーション		エクス カーション	表彰式 閉会式	帰国
Night		フリー タイム Fun Time	フリー タイム		ジャパ ン ステージ		サヨナ ラ パーティー	



## 茨城県知事より応援メッセージ

『第30回国際情報オリンピック日本大会』が、いよいよ、本年9月に茨城県つくば市で開催されます。大会の開催地であるつくば市は、我が国最大のサイエンスシティとして、2万人を超える研究者がAIやロボット、さらには宇宙開発に至るまで、様々な分野の最先端の研究に取り組んでおります。

大会でプログラミングを介して競

われる情報科学の力は、このような研究においても大変重要な役割を果たしており、選手の皆さんが今大会でその能力を競い合い、さらに成長されることが、今後の研究や産業を大きく変えていくことになります。

日本代表選手をはじめ、各国の選手の皆さんの活躍を大いに期待しております。県といたしましても、選手の皆さんが、快適な環境のもと、

競技に集中できるよう準備を進めるとともに、競技以外でも、本県の自然や食を存分に堪能いただき、思いに残る大会となるよう、万全を尽くしてまいります。皆様のご来県を心よりお待ちしております。



大井川和彦 知事



## つくば市長より応援メッセージ

世界最高水準の数理情報科学オリンピックである『第30回国際情報オリンピック日本大会』がここつくば市で開催されますことを、開催地市長として大変誇りに思います。各国選手団及び役員関係者の方々の来市に対し、23万人の市民を代表して心から歓迎いたします。

つくば市は、我が国最大の研究学園都市として多くの研究機関が所在し

ており、科学のまちとして発展してまいりました。そして現在では、世界中で課題となっている様々な問題について、科学の力に加え、市民の知恵と努力で解決策を見出すべく尽力しているところです。

また、筑波山に代表される豊かな自然や田園に恵まれ、古代から人々が暮らし続ける歴史あるまちでもあります。皆様には競技以外の時間

で、つくばの持つ歴史や自然、都市景観、卓越した科学技術に是非触れていただければと思います。

2018年9月、「世界のあしたが見えるまち」つくば市で、皆様とお会いできるのを楽しみにしています。



五十嵐立青 市長



## 筑波大学長より応援メッセージ

本年2018年9月に、『第30回国際情報オリンピック日本大会』が、世界有数の科学技術が集積するつくば市において開催されます。世界中から多くの若者達が集い、競い、互いに学び合うことのできるこの大会が開催されることは、情報社会の未来に向けて大きな意義があります。

皆さんが学ぶ「情報科学」は、社会の発展を支える不可欠な技術ですが、その

実装のためには、目的に即した効率的なプログラムだけではなく、背景となる社会情勢や地球規模課題についても理解しておく必要があります。大会は、そうした気づきの場となるはずで

す。筑波大学は、人文、理工、情報、医学、体育、芸術など幅広い学問領域を備えた日本有数の研究型総合大学です。また、約123の国・地域から多くの留学生が学びに来ています。今回の大

会では、留学生をはじめとした多くの学生が、支援ボランティアとして参加します。筑波大学と学生は、大会成功のため全力でサポートいたします。それでは、つくばの地でお会いできることを楽しみにしております。



永田恭介 学長



## いよいよ9月1日開幕! 世界中から日本へ

『IOI2018JAPAN』の開催まで、いよいよ4か月を切りました。昨年のイラン大会では、日本代表選手全員がメダルを獲得し、そのうち1名は、世界1位の快挙を成し遂げました。今回、初めての日本開催で期待が高まります。

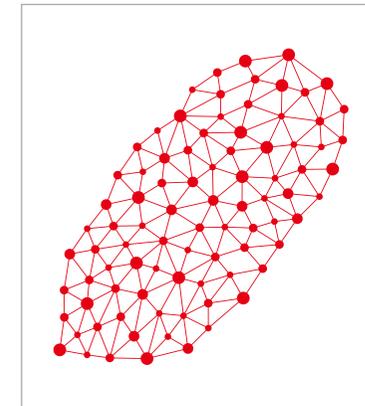
共催いただいている茨城県、つくば

市、筑波大学から多くのご協力を得て、県民、市民の皆さまが参加できるイベントを企画しています。また、筑波大学では、各国選手のチームガイドとして活躍するボランティアの募集を開始していただいています。

協賛企業の皆さまからは、温かい応

援メッセージをいただいております。情報オリンピック参加者のOB・OG達は、協賛いただいている企業でも活躍されています。

今大会のホスト国として、選手と関係者の皆さまをお招きする準備を着々と進めています。



▲大会キービジュアル キービジュアルはIOI加盟国数を87のドットで表し、プログラミングのアルゴリズムを図化したものをモチーフにしています



▲バナー掲示 つくば市のご協力で、IOI2018JAPANのバナーが、つくば駅から大会会場まで、ペDESTリアンデッキ上にはためています



▲サイトをリニューアル  
上) IOI国内サイト <https://jp.ioi2018.jp/>  
下) IOI国際サイト <https://ioi2018.jp/>

◀ IOI2018JAPAN応援イベント開催 7月4日につくば国際会議場にて、教育研修会を実施します。茨城県教育委員会と、つくば市教育局共催です

## Winter Meeting 報告

2018年2月20日~24日茨城県つくば市において、『IOI2018JAPAN』に向けWinter Meetingを開催しました。

IOIの運営において、最高意思決定機関は、GA (General Assembly) ですが、GAはIOI大会中のみ開催されるため、IOI大会中以外は、IOIの運営・管理を担当するIC (International Committee for the IOI)、IOIで出題する課題選定を含めた競技全般を統括する、ISC (IOI Scientific Committee)、IOIの競技環境を担当するITC (IOI Technical Committee) の3

つの常設委員会が運営を担っています。これらの委員会は、通常はメールなどで議論を行っていますが、ホスト国の準備状況を確認するため、北半球の冬にIOI開催地で委員会を行うことになっています。これをWinter Meetingと呼んでいます。

Winter Meeting中に、ICメンバーとITCメンバーは、競技会場であるカピオを視察。また、ICメンバーは、選手宿泊施設、及び開会式・閉会式・各種会議が開催される国際会議場を視察しました。また、2月22日の視察の間に、ICメンバーは茨城県庁に大



▲大井川知事とWinter MeetingのICメンバー

井川知事を表敬訪問しました。知事より歓迎のご挨拶があり、それに対して、IOI PresidentのProf. Leeが共催のお礼を述べ、その後、和やかに懇談が行われました。三委員会が行った課題の検討・確認にもとづき、IOI 2018 JAPAN 組織委員会は大会の準備を進めてまいります。



特別協賛



ダイヤモンドスポンサー



ゴールドスポンサー



シルバースポンサー



ブロンズスポンサー



委員長 古川 一夫

(一社)情報処理学会元会長・名誉会員  
(株)日立製作所 元社長



世界の若き情報オリンピックの才能が、競い楽しみ知り合い、将来最先端の情報技術で世界の幸福と平和に貢献することを誓い合う。そのような大会を目指します。

委員長代行 村井 純

慶應義塾大学教授



本大会を日本で開催することは、参加する世界の若者の大舞台となり、開催を支える組織や地域の方々、そして日本の未来にとっての歴史的な舞台ともなります。

副委員長 鈴木 寛

東京大学・慶應義塾大学教授  
文部科学大臣補佐官



初めて日本で開催される記念すべき大会が、今後の日本の情報教育・情報人材養成の礎となることを願います。

副委員長 大井川 和彦

茨城県知事



『第30回国際情報オリンピック』が、茨城県つくば市で開催されますことを心から歓迎いたします。県も大会の成功に協力してまいります。

副委員長 五十嵐 立青

つくば市長



街中で人々が、科学を感じることができる「世界のあしたが見えるまち」つくば市は、『第30回国際情報オリンピック』を全力で応援します。

副委員長 永田 恭介

筑波大学長



次代を担う各国の若者達がつくばに集い、情報科学の知識と技能を競い、互いを理解し友情を深め合う『IOI2018 JAPAN』を筑波大学と本学学生は応援します。

副委員長 筧 捷彦

(特非)情報オリンピック日本委員会理事長



世界中から集まる情報科学の英才たちが力を出し切って互いに競い、そして友情を築いて帰っていく、そんな大会を目指します。

白井 克彦

日本電信電話株式会社取締役  
早稲田大学名誉顧問



情報科学は、世界中の若い頭脳が注力する分野です。『第30回国際情報オリンピック』で、優秀な生徒、学生が高度な課題に挑戦するのを見るのは楽しみです。

**IOI2018 JAPAN 組織委員会メンバーの紹介と応援メッセージ**

情報オリンピック日本委員会は、IOI2018JAPAN組織委員会を立ち上げました。委員の皆さんから応援メッセージが届いています

安西 祐一郎

日本学術振興会顧問・学術情報分析センター所長  
慶應義塾学事顧問 (一社)情報処理学会元会長



世界中の若者が一堂に会して、そのプログラミングの英知を競い合う。この素晴らしい大会が、成功することを祈念しています。

村岡 洋一

東京通信大学学長 早稲田大学名誉教授  
(一社)情報処理学会元副会長



若い人が国境を越えて競い合える機会があるという事は素晴らしいと思います。是非これを成功させるべく盛り上げていきましょう。

喜連川 優

東京大学教授 国立情報学研究所所長  
(一社)情報処理学会元会長



AIが進んでも自動プログラムはまだです。プログラミング言語は日本語や英語と同じくらい重要な時代になりました。情報オリンピックでの日本の活躍を強く期待致します。

富田 達夫

(独法)情報処理推進機構理事長  
富士通研究所元会長 (一社)情報処理学会前会長



世界各国を代表する選手の皆様、それを応援する若者たち、そして大会を支えるボランティアの若い方々の熱い祭典を支援していきましょう。

西尾 章治郎

大阪大学総長  
(一社)情報処理学会会長



日本の地で、世界中の若者たちが情報科学の英知を競い合う。ここから超スマート社会をリードする人材が育つことを願っています。

谷 聖一

国際情報オリンピック国際委員会委員 (特非)情報オリンピック日本委員会専務理事 日本大学教授



参加した15回のIOIはどれも若い才能が存分に力を発揮できる大会でした。日本大会も若者が輝ける大会にしていきたいでしょう。

山本 慎

(特非)情報オリンピック日本委員会専務理事  
中央大学理工学部数学科教授



Be on a usual day!!  
いつも通りに!

30th INTERNATIONAL OLYMPIAD IN INFORMATICS

# JOI2017/2018 『第17回日本情報オリンピック』表彰式を挙



2018年3月24日、NTT DATA 駒場研修センターイベントホールにおいて、『第17回日本情報オリンピック (JOI2017/2018)』表彰式を挙りました。来賓、受賞者の保護者、過去日本情報オリンピックに参加したOB、チューター、情報オリンピック日本委員会関係者など多数の方々にご参りいただき盛大に行われました。

情報オリンピック日本委員会理事長 長寛捷彦の挨拶から始まった表彰式は、まず、全国を6つの地域に分けたブロック制成績優秀者7名、女性参加者奨励制度成績優秀者1名に表彰状とメダルが授与されました。次に、本選成績優秀賞16名、続いて銀賞3名、金賞1名の表彰が行われました。ブロック制成績優秀者、女性参加者



奨励制度成績優秀者には、元国際情報オリンピック (IOI) 日本代表選手からメダルの授与があり、金賞・銀賞の受賞者には、国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 数学学習推進部様からメダルが授与されました。金賞には、株式会社NTTデータ様から優勝カップが授与されました。また、金賞・銀賞の受賞者に情報処理学会から若手奨励賞が授与されました。

各授与の後、ご祝辞をいただき、受賞者の皆さんのこれまでの健闘を称え、激励の言葉をいただきました。



科学技術振興機構 調査役 岡田啓一様 株式会社NTTデータ 広報部長 池田佳子様 富士通株式会社 総務部 福竹主水様 情報処理学会 理事 高岡詠子様 JOI2017イラン大会 日本代表 坂部圭哉君 JOI2017イラン大会 日本代表 河原井啓君 JCIOI科学委員会 委員長 伊藤哲史 JCIOI理事長 寛捷彦 JOI2018JAPAN 組織委員長 古川一夫

## 表彰式記念講演会

表彰式に先立ち、情報処理学会の高岡詠子理事に「コンピュータとコミュニケーション過去・現在・未来～変わるものと変わらないもの～」と題し講演いただきました。

「変わらないもの・変わるものとしてコンピュータとコミュニケーションの過去を知って」欲しいこと、そして「変わるものである現在に挑戦し、未来を見据える」ことが重要である

こと。変わらないものとして、コンピュータの理論である計算の理論、コミュニケーションの理論であるインターネットの原理と通信の理論の説明がありました。

「一方、進化する技術の中から、ロボットは本当に人間から仕事を奪うのか、シンギュラリティは来るのか」などのお話があり、「最後に、皆さんの才能が未来を創ることになるのです」と締めくくられました。



才能をぜひ、人のために使ってほしい、そのためには色々なことに興味を持ってもらいたい。たとえばその時代のマイノリティのために何ができるのか。未来は自分たちで創っていくもので、皆さんの描くイメージが未来を創ることになるのです」と締めくくられました。

## 林芳正 文部科学大臣より



表彰式に続いて行われた、JOI2018 JAPAN日本代表選手発表会において、林芳正文部科学大臣から次のような激励の言葉をビデオメッセージでいただきました。

「情報科学の力が社会を豊かにして

いく原動力になっています。皆さんにはその担い手になっていただきたい。今年の国際情報オリンピックは、初めて日本が開催する大会です。2020年の東京オリンピックより一足早い頭脳オリンピックになるわけです。代

表選手は戦うモードになって頑張ってください。またホスト国ですから世界から集まる対戦相手にホストとして、おもてなしの精神で接してください。頑張れ日本！」(抜粋)

## JOI2017/2018 本選 成績優秀者

『第17回日本情報オリンピック (JOI2017/2018)』の本選参加者80名中、成績上位の20名が春季トレーニング合宿に招待され、第30回国際情報オリンピック日本大会の日本代表選手選抜競技に臨みました。また、合宿中に行われた表彰式において、右の表のとおり表彰されました。



◀左から  
清水君(銀賞)  
米田(優)君(金賞)  
井上君(銀賞)  
※行方(光)君(銀賞)  
は表彰式を欠席



▲成績優秀者の皆さん

賞	氏名	学校名	学年	学校所在地
金賞	米田 優峻	筑波大学附属駒場中学校	3年	東京都
銀賞	井上 航	北九州工業高等専門学校	2年	福岡県
	清水 郁実	N高等学校	2年	沖縄県
	行方 光一	筑波大学附属駒場高等学校	1年	東京都
優秀賞 五十音順	青山 昂生	大阪府立大手前高等学校	2年	大阪府
	大森 章裕	東京都立両国高等学校	2年	東京都
	大森 智仁	帝塚山高等学校	2年	奈良県
	岸田 陸玖	京都市立堀川高等学校	2年	京都府
	木ノ下 恭範	東京都立両国高等学校	2年	東京都
	戸高 空	宮崎県立宮崎西高等学校	1年	宮崎県
	仲吉 朝洋	慶應義塾高等学校	2年	神奈川県
	行方 聖	筑波大学附属駒場中学校	2年	東京都
	楢原 晃都	久留米工業高等専門学校	2年	福岡県
	平川 令祐	静岡県立浜松工業高等学校	2年	静岡県
	平木 康傑	灘中学校	3年	兵庫県
	細川 直希	筑波大学附属駒場中学校	2年	東京都
	細川 寛晃	灘高等学校	2年	兵庫県
	宮下 敦行	海城高等学校	2年	東京都
	米田 寛峻	開成中学校	3年	東京都
米山 瑛士	筑波大学附属駒場中学校	3年	東京都	

▲所属および学年は2018年2月時点

## JOI2017/2018 本選 奨励賞成績優秀者

地域参加を推奨するために全国を6つのブロックに分け、各地域の成績最優秀者(金賞・銀賞・銅賞を除く)を表彰しました。また、女性の参加を奨励するための女性参加者奨励制度で、本選の結果、本年度初めて成績優秀者を表彰しました。



ブロック制成績優秀者				
ブロック	氏名	学校名	学年	学校所在地
北海道・東北	藤居 輝	札幌市立あいの里東中学校	3年	北海道
関東	米田 寛峻	開成中学校	3年	東京都
中部	平川 令祐	静岡県立浜松工業高等学校	2年	静岡県
近畿	岸田 陸玖	京都市立堀川高等学校	2年	京都府
	細川 寛晃	灘高等学校	2年	兵庫県
中国・四国	青木 蓮樹	松江工業高等専門学校	2年	島根県
九州・沖縄	楢原 晃都	久留米工業高等専門学校	2年	福岡県

女性参加者奨励制度 成績優秀者				
氏名	学校名	学年	学校所在地	
吉田 桃子	京都教育大学附属京都小中学校	9年	京都府	

▲所属および学年は2018年2月時点

## 春季トレーニング合宿

2018年3月19日～25日、NTT DATA 駒場研修センター(東京都目黒区)と国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)において、春季トレーニング合宿が行われました。合宿には20名が招待され、全員が参加しました。3月20日から23日までの4日間、午前9時から午後2時まで競技、午後4時から午後6時半まで講義、午後7時半から9時まで問題解説というハードなスケジュールをこなして、24日の代表選手発表会に臨みました。



## 第17回日本情報オリンピック予選・本選

2017年12月11日午後1時から4時までの3時間、「第17回日本情報オリンピック」の予選が、オンラインにて実施されました。

本選は、2018年2月10日、11日の2日間、つくばカピオ(茨城県つくば市)で行われ、本選招待者80名が参加しました。10日には、ブラクティス(実機練習)と講演会及び夕食会が、11日は、本選競技と問題解説が

行われました。競技は、午前9時から午後1時までの4時間で、選手は5問の問題に取り組みました。本選参加者のうち成績優秀者20名が、春季トレーニング合宿へ招待されました。



## 第17回日本情報オリンピック本選 講演会

2018年2月10日、本選実機練習の後、シスコシステムズ合同会社のエンジニアリング、シニアマネージャ小野寺好広氏とシスコネットワークワーキングアカデミー プログラムマネージャ長部謙司氏が、「デジタル社会を生き抜くサイバーセキュリティスキルを身につけるには?」というタイトルで講演会を行いました。

社会経済活動、個人の生活すべてにデジタル化の波が浸透しつつある中、サイバー攻撃の脅威は日々拡大、複雑化しています。こうしたサイバーセキュリティの人材の量的・質的不足を埋めることを目的として創設された、サイバーセキュリティ スカラシッププログラムの詳細について講演いただきました。

## 第17回日本情報オリンピック本選併催教員研修会

2018年2月11日、本選の競技と並行して、本選参加生徒・学生の在学校の先生にお集まりいただき、教員研修会が行われました。

京都府立京都すばる高等学校の青山三枝子先生、東京都立産業技術高等専門学校の福永修一先生に、それぞれの学校における情報オリンピックへの取り組みについて紹介していただきました。

## 日本情報オリンピックジュニア大会 国際情報科学コンテスト ビーバーチャレンジ2017

情報オリンピック日本委員会は、2017年も小中高生を対象とした情報科学と、Computational Thinkingに関する国際コンテスト、ビーバーチャレンジ(Bebras Challenge)を11月に実施しました。ビーバーチャレンジ2017では、約5500名の児童・生徒が参加しました。

日本の高校生が作成した「さかな」「剣と盾」「カラフルな建物」などの問題が各国で出題されました。

○ビーバーチャレンジ2017概要  
<https://www.ioi-jp.org/junior/bebras2017.html>



## これまでの情報オリンピック 参加者からのメッセージ



筑波大学 情報学群 情報科学類 3年

いわき はるか  
**岩城春香さん**

情報オリンピック2012/2013本選Bランク  
 情報オリンピック2013/2014本選Bランク



こんにちは、岩城春香です。高校1年生から競技プログラミングを始め、6年間ほど続けています。情報オリンピックは、高校1、2年生の時に参加しました。

プログラミングを学びたいけど、何から手をつければいいのか分からないということはありませんか? 競技プログラミングは、簡単な文法を覚えるだけで始めることができ、数十行~数百行の短いコードで完成します。私も競技プログラミングからプログラミングを始めました。プログラミング初心者には、情報オリンピックの予選突破を目標に、競技プログラミングに挑戦してみたいかがでしょう。

競技プログラミングでは、問題を解くことによって「考える力」を鍛えることができます。問題の本質を理解し、整理する。そしてプログラムに組みなおすという一連の流れは、プログラミングに関わらず、今後の人生において大いに役立ちます。

他にも情報オリンピックに参加することによって、大学受験の選択肢が増えるメリット

があります。私が通っている筑波大学では、現在「国際科学オリンピック入試」を実施しています。情報オリンピックの成績優秀者は、一般入試とは異なる試験で入学することができます。筑波大学に限らず、さまざまな大学で特別選抜入試やAO入試を実施しているので、大学選びの参考に調べてみるといいかもしれません。

私が情報オリンピックに参加して一番良かったと感じるのは、新しい仲間と出会えたことです。さまざまなプログラミングコンテストが実施されている中、全員が同じ問題に挑戦して、同じ会場に集まれるコンテストはそう多くはありません。私も情報オリンピックで知り合った仲間と大学でチームを組み、ICPC(国際大学対抗プログラミングコンテスト)のWorld Finalsに進出しました。中高生からプログラミングをしている人は限られていて、そういった仲間と出会えることは、とても貴重な経験だと思います。ぜひ、みなさんも情報オリンピックを通して仲間を見つけてください。そして仲間と共に今後、世界で活躍できるエンジニアになることを期待しています。